

第1弾

確実に合格させる方法！！

合格させるためには、まずは、入職時の候補者対応が鍵！！

- I、入職時の言語能力を把握すること。-----▶ <なぜ、それが必要なのか>
 II、学習計画を必ず作ること。-----▶ <なぜ、作らなければいけないのか>
 III、適切なテキストを選択すること。-----▶ <なぜ、テキスト選びが重要なのか>

I、入職時の言語能力を把握すること。-----▶ <なぜ、それが必要なのか>

- 受験者自身は、総合評価だけでは言語技能の到達度が具体的に分からない。仮に、今まで構文式のテストを受けていたとしても、本当の言語能力を自覚できていない。そのため、受験者の言語能力には、図1の言語段階が必要であり、さらには、細分化した言語技能(図3)が、どの位の到達度であるのかが分からないためだ。



● 図3のように、言語技能には多種多様がある。そのため、何の言語技能が足りないかを具体的に数値で知らせることが大切だ。その結果、どのように指導していけば良いのかが分かると同時に、受験日までの期間を有効に使い、そして、能力に合った「学習計画」が作れる。さらに、受験日までの学習意欲を持続し、継続的に学ぶことができる。以上の理由から、入職時の最初に、言語能力を把握することが、とても重要なことだ。

II、学習計画を必ず作ること。-----▶ <なぜ、作らなければならないのか>

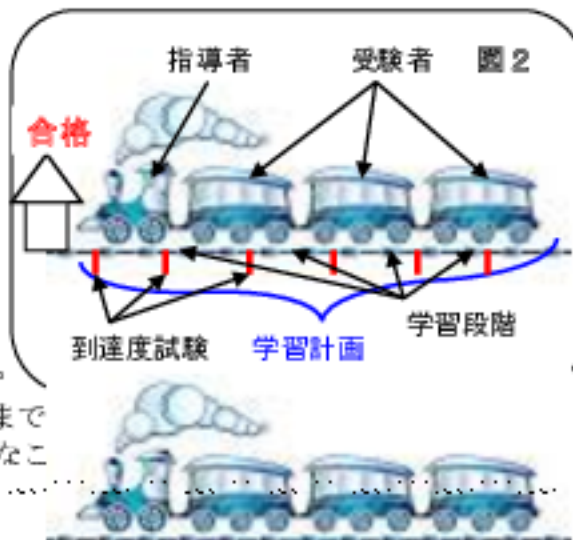
- 項目1で述べたように、言語領域と必要な言語技能を確実に習得させるためには、「言葉の暗記で語彙習得を中心とした学習」を行うのではなく、基礎言語段階を確実に養った上で次の生活言語段階を身につけて、それから、職域言語段階を習得させることが、受験者にとって無理の無い学習方法であることは、誰でも理解できることだ。

- では、どのように「学習計画」を作れば良いかと言えば、図2で表したように考えると分かり易い。線路は国家試験を最終駅(学習目標)として敷かれたもので、その線路をしっかりと固定し、安定させるために作られたものが枕木だ。この枕木は、国家試験に向けての節目を細かく刻んでいるもので、学習段階を表す。そして、枕木の間にある長い枕木は、定期的に学習到達度を見るための試験で、その試験を実施することにより、「言語技能の到達度」と「受験者の弱点を指摘できるデーター」が得られる。

そのデーターに基づき、枕木の修正を随時行いながら、受験者の言語技能を確実なものにしていくことができる。

- それから、列車の先頭に機関車があり、これを運転する人が教育指導者と言える。機関車と客車が連結器で繋がっており、教育指導者は定期的な到達度試験の結果を見ながら、列車の速度を速めたり、遅くしたりすることができるために、学習の理解度に合わせた指導ができる。

- 受験者は客車に乗っているだけではなく、目的地に着くまで者と連携しながら、列車を進めていくことが何より重要なこ



Ⅲ、適切なテキストを選択すること。――→ くなぜ、テキスト選びが重要なのか>

- 図3は、【言語技能の種類】と「暗記型と理解型」の学習によって得られる言語力を比較したものだ。図3を見ると「暗記型」は10項目で「×」印があり、日本語を基本的に理解できる言語技能が身につかない。それに対して、「理解型」では13項目全ての技能が習得できることを表している。このことは、教材の選択で受験者の言語能力が大きく左右されることを表している。多くの施設では、事業団教材を中心に使用しているために「暗記型」学習となっている。その結果、図4で表した過去の合格者、並びに、合格率の原因を作り出している。図3と図4の関連性を認識

図3

言語技能の種類	暗記型	理解型
瞬間反能力	×	○
文字認知力	△	○
構文力	×	○
助詞力	×	○
読解力	△	○
文法理解力	×	○
情景読解力	×	○
文意力	×	○
文脈力	×	○
要約力	×	○
漢字熟語力	△	○
対応力	×	○
会話力	×	○

すれば、「理解型教材」を選び、【言語能力を養う】という視点の重要性を改めて見直す必要がある。

- 【言語能力を養う】という視点で作られた教材を使用した場合には、図4で明白のように【到達度試験参加者】の合格者数、並びに、合格率は非常に高い水準を保っていることが明らかになった。
- 【確実に合格させる方法の秘訣】は、使用教材の選択で決定されると言っても過言ではない。
- 「理解型教材」とは、【言語能力を養うために体系的に作られた教材】であり、論理の飛躍が無い教材のことを言う。よって、素人でも教材を目にすると「暗記型」教材か、「理解型」教材との違いが一目瞭然に分かるので、この選択基準を持って、教材選びをすることを勧める。【次号で第2弾を報告】

図4

年度	受験者内訳	受験者	合格者	合格率
2012年	一般受験者	59人	17人	28.8%
2012	到達度参加者	36	19	52.7
2013	一般受験者	246	60	24.3
2013	到達度参加者	76	68	89.4



【学習方針を変え、大きな変化が!!】(成功例)

- 入職当初から、施設職員が日本語を指導してきた。業務上では表面的には、二名とも支障が出るほどの事は無かったので、日本語力は順調に仕上がってきているものと思っていた。
- 事業団の訪問指導の際には、「日本語は順調に定着しているので、問題ない。残りの1年間は国家試験対策に集中して学習するように」と言われた。そのアドバイスを信じ、専門用語や過去問題を中心に学習させ、さらに、専門学校にも通わせた。しかし、残念ながら結果は二名とも不合格だった。後になり、受験者は「専門学校の先生が使う日本語が、理解できなかった」と言ったので驚いた。「日本語は問題ない。」という事業団のアドバイスを真に受けて、専門学校に通わせたが、受験者が言うように、授業の内容が理解できなかった事を考えると、事業団のアドバイスは「何の根拠も無い、いい加減なもの」とやっとその時気づいた。専門学校に通わずに、従来通り、職員が手厚く指導していたほうが、よっぽど効果があったのではないかと反省した。
- 教育相談を受けて、今年の4月から【到達度試験】に参加した。日本語の基礎からやり直し、考察指導に従って職員が指導している。教育効果は3ヶ月間で目に見えるように表れてきた。この半年間で職域言語能力まで達し、自分達で介護の教科書と参考書を読み進めている。
- また、実務能力も以前より向上し、利用者さんとの会話もスムーズに行えて、日本人職員と同様の仕事ができるようになった。あまりにも、事業団のアドバイスと【到達度試験】の指導との違いがあり、驚いている。さらに、指導者の先生からは、この段階でしっかりと専門知識を身につければ、「合格は間違いない」と言われて安心している。

(東京都・U施設)

施設の声

同じ失敗を繰り返さないためにも、昨年合格できなかった「声」を参考に改善策を考えて！！

無責任な教師に大迷惑・・・！！

- ボランティア教師に指導を任せていたが、突然投げ出して、アメリカに行ってしまった。そのため、訳も分からず急遽、施設担当者が指導することになって、非常に迷惑した。
- 国家試験問題では、易しい言葉で説明したら理解をして解けるが、自分ひとりで過去問を解かせると、日本人にはすぐ分かるような問題でも理解できず、勘で解いている状態で、思っていた通り、不合格だった。ボランティアは無責任だと感じた。（大阪府・P施設）

なぜ、結果を出せない教師を 継続して採用したのか・・・！！

- 元国語の先生だから大丈夫だと思って指導を依頼してきたが、教育効果は全く無く、結果は不合格となった。途中で、教育効果が一向に上がらないことは気づいていたが、契約を継続していたために、施設の方針を切り替えることができなかったことが最大の原因だった。しかし、受験者のことを本気で考えるならば、契約を廃棄してまでも切り替えるべきだった。
- 受験者は、試験時間延長や漢字に振り仮名を振られても、結局は試験問題を理解して解いてはいない。本人に「時間が延びたから解けただろう」と確認しても、「時間があまっているだけででき具合は良くない」という反応が返ってきていた。国家試験問題を「勘」で解いていたこと事態、合格できないことは分かっていたのに、何も対処しなかったことを後悔している。
- 不合格になって初めて、月報の指摘通り、「日本語教育と国語教育の違い」がはっきり分かった。今後もし、受け入れるようなことがあれば、ボランティアに頼むのではなく、教育効果を重要視したプロの教師に指導を受けようと思っている。（岡山県・U施設）

意欲を削ぐ、多大な事業団教材！！

- 日本語学校に月2回（二日間）1回6Hで通学していたが、効果は実感できなかった。その上、国家試験対策のEラーニングも実施させていた。しかし、これも教育効果は感じられなかった。
- 日本語力を養うというより、国家試験を強く意識していたため、当初から受験テクニックに特化して勉強してしまっていた。その結果、受験者は漢字の意味を理解することが難しく、文末によって意味が正反対になる問題文に対応できなかった。このことは、日本語力の無さだとやっと気づいた。
- 不合格の原因の一つは、外部教師任せにしていたことだと思う。その時に、施設の管理職が学習の進捗度合いや、指導法のポイントを把握できれば良かったが、それをしなかった。職員で事業団から送られてくる大量の教材を使い指導もしていたが、本人たちもシフトで仕事をしていたり、担当の時間もとれなかったりと、やりこなせなかった。しかし、やっていたとしても、この方法では受験能力が身につくものではないと思っていた。
- 本人たちのモチベーションが一番大切だ。しかし、事業団からの教材やテストがあまりにも多いために、その意欲が打ち砕かれてしまった。事業団のこのやり方には疑問をもっていたので、厚労省と事業団に意見し、改善を求めた。（兵庫県・A施設）

能力の無い教師に任せていたために！！

- 日本語教師に指導を依頼していたが、目に見える効果がなかった。そして、受験者には学習意欲と継続する気持ちがなかったことが不合格になった原因だと考えている。
- 「学習に対する目標付け」となる方法を教育相談した。そこで、御社から「受験者の能力を数値化してそれを定期的に把握させることが重要」と伺ってはいたが、能力を数値化するということが日本語教師自体、できる能力がなかった。ただ、学習させた内容をテスト形式で採点する方法で進めていたのが現状だった。次回、受け入れるようなことがあれば、御社の定期試験に参加させ、自学できるようにしていきたいと思う。（東京都・T施設）

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

※ 【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い諸技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は、平成 24 年度国家試験で受験者数 95 名中 36 名が合格し、その 36 名中 19 名 (52.7%) がこの【到達度試験】を受けた受験者でした。 25 年度では、128 名の国家試験合格者のうち、【到達度試験】参加者は 76 名で、合格者は 68 名 (89.4%) でした。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で働く人間として必要な言語能力を養うことを重要視した学習方法です。 さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、病院や介護施設などで実践力のある要員として育成することを目的としています。 定期的試験結果を数値化し、職員に指導の仕方を考察票でお送りしておりますので、安心してご指導頂けます。 是非、ご参加下さい。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職域 言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」(漢字 熟語)と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 (語彙力・文意力)に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活 言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎 言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字(ひらがな・カタカナ・ 漢字)・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回	75 %	受験者の現状の日本語能力を観る。		

【国家試験受験能力到達度試験】参加のすすめ

- 1、受験者には試験結果に基づき、考察票（言語能力到達度）にあわせて学習指導をしますので、担当者が客観的な「考察票評価」に基づいて現状を把握することができます。
さらに、担当者が考察票の指導方法に基づいて具体的な学習指導ができるために、その結果、受験者の言語能力が向上します。
- 2、言語能力の到達度チェックは、2ヶ月単位に到達度数値を見ることが大切です。
常に、受験者の言語能力の変化を定期的に観ることで、国家試験受験能力の向上を促すことができます。今後、受験勉強と同時に、職域での実践力がある人材育成を目指すことが重要です。
そのためにも、【国家試験受験能力到達度試験】を受けることをおすすめします。
- 3、受験対策は、国家試験過去問題だけに偏ることなく、過去問題以上の難易度の高い試験問題に対応できる能力を養うことが、国家試験合格率を高めることとなります。この理由から、本試験のEレベル～国試3レベルまでは、国家試験問題よりも高度な問題作成となっていますので、必然的に合格率の可能性が高まるように作られています。
- 4、最も大切な言語能力は、日本語の基礎言語能力（初回～Dレベル）です。この段階の到達度が目標数値を越えれば、国家試験受験能力はほぼ達成できるように作られています。

【国家試験受験能力到達度】試験と【教材】申し込み書		<送付先：FAX 03-6677-0632>	
施設名/病院名：		ご担当者名：	
所在地：〒			
電話：	FAX：	メールアドレス：	
<受験人数> 名			
<受験者の国籍> インドネシア（ 名） フィリピン（ 名）			
※ 下記の料金は受験者1名あたりの金額です。該当するレベルを○で囲んで下さい。			
<単発受験>			
初回・レベルA・B・C・D・E・F・国試1・2・3 @20,000円 × 名 合計金額 円			
※ 考察のみで、電話やメールでの指導相談は行いません。			
<継続受験>			
初回から全10回（教材費・考察指導料込み） 190,030円 × 名 合計金額 円			
※ 継続受験については、電話やメールでの指導相談を随時、行っています。			

- ★ 教材のすすめ 下記の教材は、受験者が自分で日本語の【規則性と用法・運用能力】を養うことができる自学教材です。特に、国家試験問題に対して必要な「読解力」が養えます。
教材一覧が別途ありますので、お問い合わせ下さい。

※ ご希望の教材の冊数を（ ）内に必ず、ご記入下さい。			
100万人の日本語No.1（ ）冊	ひらがなかーど（ ）冊	漢字のーと1（ ）冊	
100万人の日本語No.2（ ）冊	ひらがなのーと（ ）冊	漢字ノート2（ ）冊	
100万人の日本語No.3（ ）冊	カタカナノート（ ）冊		
お申込書が届きましたら、一週間以内に教材をお届け致します。教材到着後、三日以内に同封しているお振込み先にお支払い下さい。送料は着払いにさせていただきます。			
ことばの研究社 〒164-0002 中野区上高田 3-2-13 石田ビル 303			
電話：03-6317-6009 FAX：03-6677-0632 メール：kotoba_ken@yahoo.co.jp			